

第9回 日本脳ドック学会総会

*The 9th Annual Meeting of Japanese Society
for
the Detection of Asymptomatic Brain Disease*

●プログラム・抄録集



会長 小林 祥 泰
(島根医科大学第3内科)

平成12年6月29日(木)・30日(金)

松江市くにびきメッセ

第9回 日本脳ドック学会総会

●プログラム・抄録集

会長 小林 祥 泰

(鳥根医科大学第3内科)

▶会 期◀

平成12年 6月29日(木)・30日(金)

▶会 場◀

松江市くにびきメッセ

〒690-0826 松江市学園南1丁目2番1号
TEL0852-24-1111 FAX0852-22-9219

名誉会員

戸谷 重雄 山田 弘

評 議 員

朝倉 哲彦	飯沼 武	太田 富雄	大友 英一	大本 堯史
小川 彰	奥寺 利男	片山 泰朗	河瀬 斌	神野 哲夫
桐野 高明	児玉南海雄	小林 祥泰	齋藤 勇	坂井 昇
櫻井恒太郎	澤田 徹	篠原 幸人	島本 和明	高木 繁治
高倉 公朋	高橋 睦正	館野 之男	田中 隆一	赫 彰郎
東儀 英夫	中島 健二	貫井 英明	端 和夫	橋本 信夫
早川 徹	福井 仁士	藤島 正敏	松谷 雅生	松本 圭蔵
丸山 勝一	宮坂 和男	山口 武典	吉峰 俊樹	吉本 高志

幹 事

中川 俊男 藤原 悟

(敬称略：五十音順)

ご 挨拶

この度、第9回日本脳ドック学会を平成12年6月29日・30日の2日間、松江市で開催させて頂くことになり、大変光栄に存じております。この4月に小淵総理が脳梗塞で倒れられたことを契機に、脳卒中の予知・予防が全国的な話題となっております。脳疾患の予知・予防を目的として設立された日本脳ドック学会に対する国民の期待も大きくなって参りました。この期待に答えて脳ドック学会が国民に認知され、信頼されるものとなるためには、脳ドックの標準化、質的向上を学会としてさらに推進すると共に、学術集會に留まらず社会的責任を果たしていくための活動が必要となって参りました。世界の最先端をいく我が国の脳ドックから脳卒中の予知・予防に関する最新かつ大規模な成績を世界に発信していくことも重要であります。このためにまず画像診断基準の統一が必要であります。そこで脳ドックで最も分類基準にばらつきのある大脳白質病変を取り上げ、無症候性白質病変に関する第一人者であるFazekas教授をお招きして「無症候性白質病変の臨床的意義と病理所見」というテーマで特別講演をしていただくことになっております。さらに、「無症候性脳虚血病変の分類と病理学的所見の問題点」というテーマでシンポジウムを企画し、Fazekas教授にも討論に参加していただく予定です。白質病変の分類に関してある程度の方向性が出ればと期待しております。

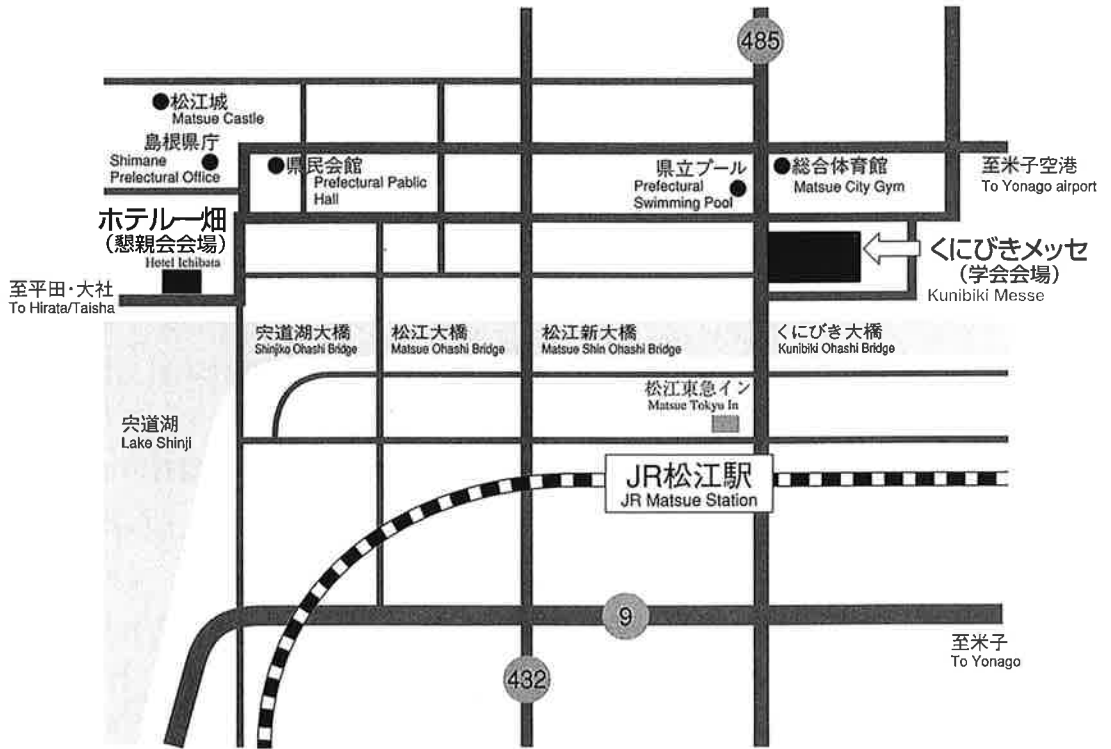
もう一つのテーマは「未破裂脳動脈瘤手術の高次脳機能への影響」であります。予防的手術であるが故に詳細な術後評価が要求されます。今後の未破裂脳動脈瘤における高次脳機能評価の標準化に結びつくことを期待しております。また、「脳ドックにおける高次脳機能検査の標準化の問題点」では無症候性大脳虚血性病変で潜在性に障害されやすいにも関わらず、従来、検査が困難であった前頭葉機能に注目し結論を行う予定です。その標準化の一助としてパソコンで簡便に検査可能なWisconsin Card Sorting Test (慶應-F-S-version)を開発致し、ご参加頂いた皆様にお配りする予定ですので、脳ドック等でお使い頂ければ幸いに存じます。

水の都、松江でお会い出来ることを心からお待ちしております。

平成12年6月

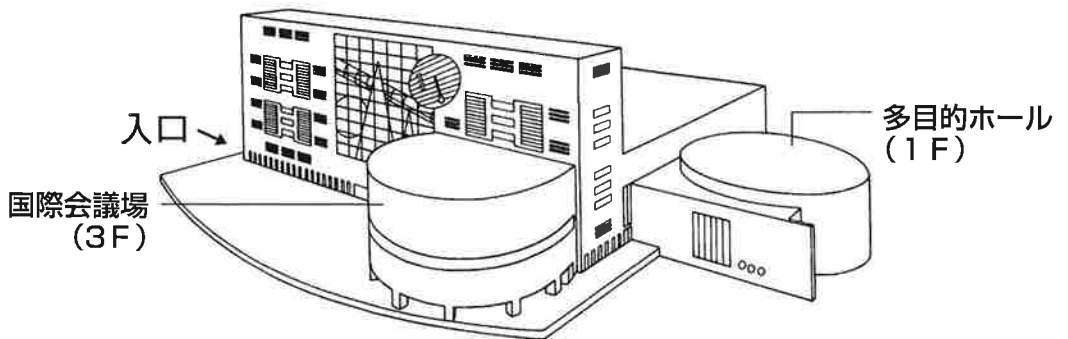
第9回日本脳ドック学会総会
会長 小林 祥 泰

会場のご案内



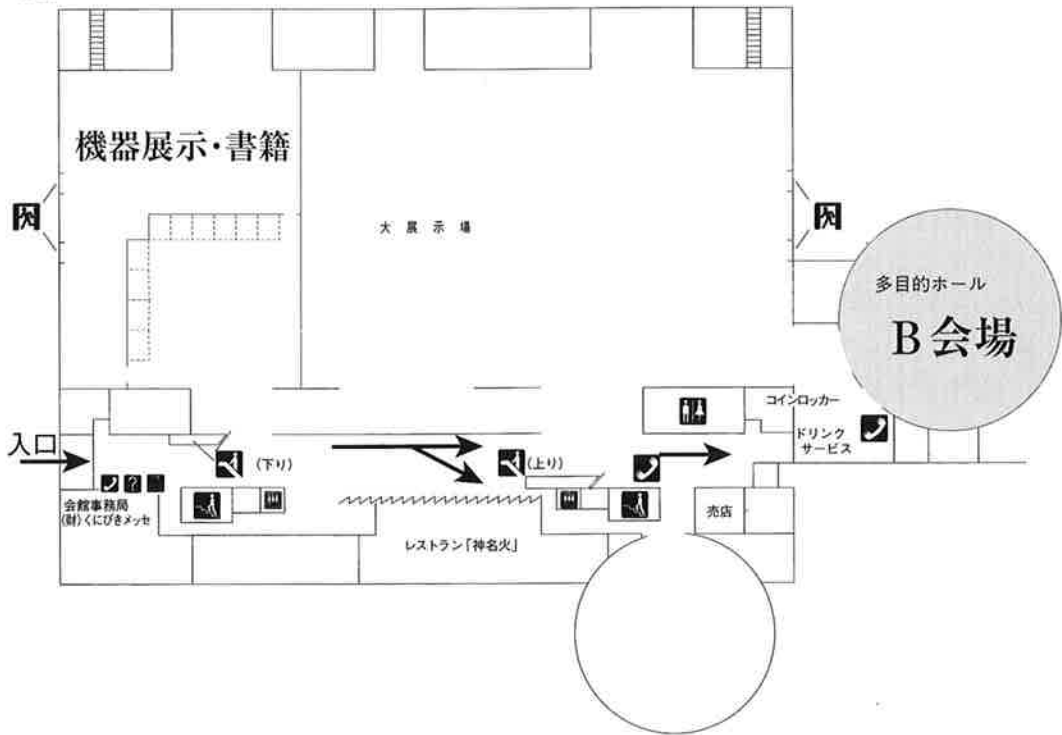
●会場までの交通
 至出雲・玉造 To Izumo/Tamatsukuri
 至出雲空港 To Izumo airport

●会場までの交通
 出雲空港から タクシーで約30分
 バスで約35分 (JR松江駅まで)
 JR松江駅から タクシーで約5分
 徒歩で約7分



会場見取り図

1F



3F



注意：3階の会場へは西エレベーター・西階段をご利用ください。
 (東エレベーター・東階段では会場へ行けません。)

ご 案 内

1. 参加者の皆様に

- (1) 参加者受付は6月29日、30日ともに午前8時20分から松江市くびきメッセにて行います。参加費を参加受付へお願いします。(事前登録済みの方は不要)引換に名札をお渡ししますので、所属、氏名をご記入の上、会期中は胸にお付けください。
- (2) 脳神経外科学会専門医の方は、本会は日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので、参加者カードに専門医番号をご記入ください。また、名札の下の切取り部分にも専門医番号をご記入の上、受付に用意した所定の箱にお入れください。
- (3) 当学会未加入の方は、新入会員受付にて所定の手続きをお取りください。
- (4) プログラム・抄録集は当日ご持参ください。ご希望の方には会場にて一部1,000円で販売しますが、数に限りがございますのでご了承ください。

2. 演者の皆様に

- (1) スライド受付は当日午前8時30分より、A会場・B会場にて行います。早期のご発表の方を除き、発表の1時間前までに受付をお済ませください。スライドを所定のスライドホルダーに収め、試写確認の上、係にお渡しください。発表終了後スライドは速やかに受領書と引換にお受取りください。
- (2) 発表時間は、一般演題6分、シンポジウムS1 12分、S2・S3は9分です。時間の厳守をお願い致します。
- (3) プロジェクターは35mm版2台を用意致します。スライドは原則として片側10枚の計20枚以内とします。スライドの映写は演者をご指示ください。
- (4) ビデオのご使用はできません。
- (5) 次演者は所定の席でお待ちください。
- (6) 円滑な運営のため、質疑、コメントされる方はあらかじめマイクの前で立ち、座長の指示に従ってください。

3. ランチョンセミナー

6月29日はA、B会場、6月30日はA会場にて行います。ランチが用意されています。(無料)

4. 機器展示

学会期間中、機器展示を行います。各メーカーから最新機器等の展示がありますのでご覧ください。

5. 学会懇親会

6月29日(木)午後6時30分よりホテル一畑において懇親会を行います。(参加無料)

6. 学会事務局

期間中（6月29日・30日）：松江市くにびきメッセ

〒690-0826 松江市学園南1丁目2番1号

TEL:0852-24-1111 FAX:0852-22-9219

期間外：島根医科大学第三内科資料室

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

TEL:0853-20-2198 FAX:0853-20-2194

e-mail:kazi-dr@shimane-med.ac.jp

home page:<http://www.shimane-med.ac.jp/japanese/s>

[department/internal-med3/jbd9/index.html](http://www.shimane-med.ac.jp/japanese/s/department/internal-med3/jbd9/index.html)

市民公開講座

テーマ：「脳卒中にならないために」

日時：平成12年6月30日(金) 15:00～17:00

(日本脳ドック学会終了後)

会場：くにびきメッセ国際会議場

主催：日本脳ドック学会

共催：島根県医師会、山陰中央新報社、山陰中央テレビ放送株式会社

司会：島根医科大学第3内科 小林祥泰

1. 『脳卒中なんか怖くない』

—その予知・予防／治療法の進歩—

講師：松本昌泰先生（大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学 助教授）

2. 『クモ膜下出血の予防は可能か』

講師：中川俊男先生（新さっぽろ脳神経外科病院 院長）

Wisconsin Card Sorting Test (WCST-KFS version)

CD-ROM (Mac-Windows hybrid版) 配布のお知らせ

脳ドックにおける高次機能検査で重要な前頭葉機能検査の標準化促進のため、国際標準検査の一つであるWCST（慶應新修正版）をパソコン版として開発したもの（脳卒中急性期患者データベースの構築に関する研究（H11-健康-020））を学会当日にご希望の方にお配りする予定です。説明、練習から検査、採点まで自動化され神経心理の専門家でなくても簡単に検査可能で、脳ドックでは10分程度で実施できます。

日 程 表

第1日目：6月29日(木)

A会場（国際会議場）		B会場（多目的ホール）	
8:55			
	開会の辞		
9:00	無症候性脳梗塞（A1-6） （座長：片山泰朗）	9:00	未破裂脳動脈瘤1（B1-4） （座長：神野哲夫）
9:54	脳ドックの現状1（A7-10） （座長：太田富雄）	9:36	未破裂脳動脈瘤2（B5-8） （座長：橋本信夫）
10:30	脳ドックの現状2（A11-13） （座長：齋藤 勇）	10:12	未破裂脳動脈瘤3（B9-12） （座長：朝倉哲彦）
10:57	高次脳機能（A14-16） （座長：山口修平）	10:48	未破裂脳動脈瘤4（B13-17） （座長：河瀬 斌）
11:24	検査法・無症候性脳出血（A17-21） （座長：山口武典）	11:33	無症候性脳血管病変（B18-21） （座長：児玉南海雄）
12:09		12:09	
12:20	ランチョンセミナー1 脳卒中の画像診断：一最近の話題から一 小川敏英（座長：吉峰俊樹）	12:20	ランチョンセミナー2 未破裂脳動脈瘤の血管内手術の進歩 高橋 明（座長：端 和夫）
13:20	議事総会	13:20	
13:40	特別講演 Silent white matter lesions -clinical significance and pathological findings- Dr.Franz Fazekas（座長：小林祥泰）		
14:40			
14:50	シンポジウム1 無症候性脳虚血病変の分類と 病理学的所見の問題点 （司会：奥寺利男、澤田 徹 コメンテーター：Dr.Franz Fazekas）		
16:50			
17:00	脳ドックと医療経済・その他（A22-25） （座長：赫 彰郎）	17:00	無症候性脳・脊髄腫瘍（B22-25） （座長：田中隆一）
17:36		17:36	

第2日目：6月30日(金)

A会場（国際会議場）		B会場（多目的ホール）	
9:00	シンポジウム2 未破裂脳動脈瘤手術の 高次脳機能への影響 (司会：小川 彰、貫井英明)		
10:30			
10:40	シンポジウム3 脳ドックにおける高次脳機能検査の 標準化の問題点 —特に前頭葉機能検査について— (司会：東儀英夫、小林祥泰)		
12:10			
12:20	ランチョンセミナー3 MRI機器の最近の進歩 (座長：中川俊男、藤原 悟) 1) シーメンス旭メディテック株式会社 2) 東芝メディカル株式会社 3) GE横河メディカルシステム株式会社		
13:20	閉 会 の 辞		
13:25			
15:00	市民公開講座 テーマ：「脳卒中にならないために」 1. 『脳卒中なんか怖くない』 —その予知・予防／治療法の進歩— 講師：松本昌泰先生 2. 『クモ膜下出血の予防は可能か』 講師：中川俊男先生		
17:00			

特 別 講 演

6月29日 A会場

Silent white matter lesions

-clinical significance and pathological findings-

Dr.Franz Fazekas,M.D., Karl-Franzens University

ランチョンセミナー

1. 脳卒中の画像診断—最近の話題から—

：6月29日（12：20～13：20）A会場

小川敏英先生（鳥取大学 放射線科）

座長：吉峰俊樹先生（大阪大学 脳神経外科）

共催：第一製薬株式会社

2. 未破裂脳動脈瘤の血管内手術の進歩

：6月29日（12：20～13：20）B会場

高橋 明先生（東北大学 医学部大学院研究科神経病態制御学）

座長：端 和夫先生（札幌医科大学 脳神経外科）

共催：三菱東京製薬株式会社

3. MRI機器の最近の進歩

：6月30日（12：20～13：20）A会場

メーカー研究所研究員

1) シーメンス旭メディテック株式会社

2) 東芝メディカル株式会社

3) GE横河メディカルシステム株式会社

プログラム

第1日：6月29日(木)

● A会場 (国際会議場)

8:55～9:00

開会の辞

会長 小林祥泰

9:00～9:54

無症候性脳梗塞

座長：片山泰朗

- A-01) 当院脳ドックでの無症候性脳卒中病変とリスクファクターの関連
焼津市立総合病院 脳神経外科
○山本淳考、嶋田 務、北濱義博、赤嶺壮一、岩崎浩司、佐藤顕彦
- A-02) 本院の脳ドック受診者2000例における脳梗塞の危険因子について
全仁会倉敷平成病院 脳ドックセンター、脳神経外科*、神経内科
○松森祝子、須方 肇*、鳥居 剛、高尾武男
- A-03) 脳ドックで発見された主な脳血管疾患における脳卒中の危険因子保有率の検討
広南病院 脳神経外科、東北大学 脳神経外科*
○長嶺義秀、藤原 悟、吉本高志*
- A-04) 無症候性脳梗塞の発現とライフスタイル要因
— 中年齢期の男性を対象とした検討 —
東京慈恵会医科大学 健康医学センター、
聖マリアンナ医大 難病治療研究センター
○豊原敬三、和田高士、下條貞友*
- A-05) 無症候性脳梗塞の発現率 性・年齢・基礎疾患・嗜好品との関係
日本医科大学 第二内科、金内メディカルクリニック*
○孟 祥英、永積 惇、高橋真理子、金内秀士*、石井慎二*、赫 彰郎、
片山泰朗
- A-06) 無症候性脳梗塞の発現率 年齢を中心とした基礎疾患との関係
日本医科大学 第二内科、金内メディカルクリニック*
○永積 惇、高橋真理子、孟 祥英、金内英士*、石井慎二*、赫 彰郎、
片山泰朗

9:54~10:30

脳ドックの現状 1

座長：太田富雄

- A-07) 脳ドックにおける脳梗塞、白質病変の追跡調査
札幌医科大学 脳神経外科
○端 和夫、八巻稔明
- A-08) 脳ドック 5年間の経験からの考察
虎の門病院 脳神経外科、健康医学センター*
○梅津博道、関 要次郎、臼井雅昭、吉永英世*
- A-09) 脳ドック 5回以上受診者の経過
黒沢病院 脳神経外科、高崎健康管理センター*
○岡田慶一、大森重宏、島田祥士、黒沢 功*
- A-10) 当院における脳ドックの現況
岐阜県立下呂温泉病院 脳神経外科、岐阜大学 脳神経外科*
○北島英臣、杉本信吾、岩田辰夫、坂井 昇*

10:30~10:57

脳ドックの現状 2

座長：齋藤 勇

- A-11) 脳ドック受診者における脳卒中発症調査 (第7報)
島根医科大学 第3内科、大田市立病院*
○山下一也、小林祥泰、高橋一夫、青山晃治、渡部雄治、飯島献一、
山口修平、岡田和悟*
- A-12) 脳卒中予防のための脳ドックの有用性
前橋赤十字病院 脳神経外科、北信総合病院 脳神経外科*、神経内科**、
健康管理部***
○和田裕千代、塚原隆司*、牧下英夫**、青木君代***
- A-13) 脳ドック 5年後の受診者アンケート調査結果
藤枝平成記念病院 健康増進、予防センター
○平井達夫、吉田 守、政平訓貴、山本義介

10:57~11:24

高次脳機能

座長：山口修平

- A-14) Wisconsin Card Sorting Test (WCST-慶應-FS version) の脳ドックでの試行結果
島根医科大学 第3内科
○原田祐子、錦織朋子、小林祥泰、山下一也、高橋一夫、青山晃治、
飯島献一、山口修平

A-15) Wisconsin Card Sorting Test (WCST-慶應-FS version) と他の認知機能および心理状態との関連

島根医科大学 第3内科

○錦織朋子、小林祥泰、原田祐子、山下一也、高橋一夫、青山晃治、
飯島献一、山口修平

A-16) 神経心理（高次機能）検査の年代別結果

東京都神経科学総合研究所 リハビリ研究部門、
三井記念病院 総合健診センター*
○御園生 香、武田克彦、山門 実*

11:24～12:09

検査法・無症候性脳出血

座長：山口武典

A-17) 超音波による経頭蓋Bモードの役割

—頭蓋内の解剖学的構造の把握とその有用性—
埼玉脳神経外科病院、日立メデイコ*

○中岡 勤、坂口 新、松浦 浩、鎌田英世*、苗村佳子*

A-18) 健常成人の45° head-up tilt に伴う脳内血液量の変化における性差の検討

島根医科大学 第3内科、津和野共存病院 内科*
○飯島献一、小林祥泰、山口修平、山下一也、須山信夫*

A-19) 血小板凝集能亢進是正による白質病変憎悪防止

—脳ドックにおける血小板凝集能検査の重要性—

石川病院 先進画像・医療研究所、兵庫県立姫路循環器病センター
脳神経外科*、神経内科**
○藤田稠清、川口哲郎*、上原敏志**

A-20) 無症候性ラクナ出血の MR 診断

—echo-planar gradient-echo imageの有用性—

鳥取大学 放射線科、秋田県立脳血管研究センター 放射線科*
○木下俊文、奥寺利男*、田村 元*、下瀬川恵久*、伊藤 浩*、小川敏英、
畑澤 順*、上村和夫*

A-21) 脳卒中と無症候性微小出血との関連

防衛医科大学校 救急部、放射線科*、脳神経外科**
○柳川洋一、阪本敏久、岡田芳明、海野 泰*、対馬義人*、徳丸亜耶*、
苗代 弘**、島 克司**

12:20~13:20

ランチョンセミナー 1

座長：吉峰俊樹

脳卒中の画像診断：—最近の話題から—
鳥取大学 放射線科

小川敏英

13:20~13:40

議事総会

13:40~14:40

特別講演

座長：小林祥泰

Silent white matter lesions
-clinical significance and pathological findings-
“ Dr. Franz Fazekas, M.D., Karl-Franzens University ”

14:50~16:50

シンポジウム 1 無症候性脳虚血病変の分類と病理学的所見の問題点

司会 秋田県立脳血管研究センター放射線医学研究所所長 奥寺利男
国立循環器病センタービーエフ研究所所長 澤田 徹
コメンテーター Dr. Franz Fazekas

- S1-1) 無症候性脳血管障害画像診断基準の問題点
—特に白質病変について—
東海大学 神経内科 篠原幸人
- S1-2) 無症候性大脳白質病変 (leukoaraiosis) の分類
—Fazekas分類等との対比—
札幌医科大学 脳神経外科 田邊純嘉
- S1-3) 無症候性大脳白質病変の病理所見
慶應義塾大学 神経内科 厚東篤生
- S1-4) 無症候性脳虚血病変の病理所見
—Fazekas分類等の問題点—
住友病院 神経内科 宇高不可思
- S1-5) 画像診断の立場から見た白質病変分類
秋田県立脳血管研究センター 奥寺利男
- S1-6) 実験的白質病変の病態生理
京都大学 病態生理学・臨床神経学 秋口一郎
- (各12分、討論48分、計120分)

17:00～17:36

脳ドックと医療経済・その他

座長：赫 彰郎

- A-22) 当院脳ドックにおける地域別分布、補助金契約団体、個人負担率の傾向
焼津市立総合病院 脳神経外科
○山本淳考、嶋田 務、北濱義博、赤嶺壮一、岩崎浩司、佐藤顕彦
- A-23) 脳動脈瘤治療の経済効率
土浦協同病院 脳神経外科
○重田恵吾、山崎信吾、田畑 均、橋本邦雄
- A-24) ISDN 回線を用いた遠隔画像診断支援
—Hospi-netの現状と将来—
セコメディック病院 脳神経外科、ホスピネット画像読影センター*、
昭和大学 脳神経外科**
○鈴木泰篤、尾花宏一*、中村精紀**、松本 清**
- A-25) 脳ドックにおける CRM ストラテジー
相模原中央病院 脳神経外科
○中野次郎、山下晃平、中野重徳

●B会場（多目的ホール）

9:00～9:36

未破裂脳動脈瘤 1

座長：神野哲夫

- B-01) 未破裂脳動脈瘤の検出における三次元 MRA(3-D MRA)・仮想内視鏡の有用性
医) 涼風会 佐藤脳神経外科
○佐藤 透
- B-02) 脳ドックでの未破裂脳動脈瘤診断における 3D-CT angiography (3D-CTA) の有用性
岩手医科大学 脳神経外科、神経内科*
○鈴木 豪、鈴木倫保、小川 彰、佐々木一裕*、東儀英夫*
- B-03) 脳ドックで脳動脈瘤が疑われた場合の、二次検査としての 3D-CTA
福井県済生会病院 脳神経外科
○高島靖志、宇野英一、若松弘一、石田恭央、土屋良武
- B-04) 脳ドックにより指摘された未破裂脳動脈瘤精査における高速回転 DSA と cone-beam 3DCTA の有用性
りんくう総合医療センター市立泉佐野病院 脳神経外科、
大阪大学 神経制御学講座*
○山中一功、中島義和*、真田寧皓、平山 東、田村和義、伊藤 守、
甲村英二*、吉峰俊樹*

9:36～10:12

未破裂脳動脈瘤 2

座長：橋本信夫

- B-05) 当院脳ドックにおける未破裂脳動脈瘤に関する検討
筑波記念病院 脳神経外科
○杉本耕一、鮎澤 聡、小林栄喜
- B-06) 脳ドックにおける破裂の危険性が高い未破裂脳動脈瘤の割合と臨床的特徴
済生会熊本病院 脳神経外科
○藤岡正導
- B-07) 未破裂動脈瘤治療における術後合併症としての心的外傷後ストレス障害 (PTSD) について
横浜総合病院 脳神経外科
○平元 周、吉水信裕、山崎泰行、横内哲也
- B-08) 未破裂脳動脈瘤術後の高次脳機能の変化について
函館新都市病院 脳神経外科
○川崎 剛、高村幸夫、布村克幸、千葉 圭、蓮沼正博、伊藤丈雄

10:12~10:48

未破裂脳動脈瘤 3

座長：朝倉哲彦

B-09) 無症候性脳動脈瘤の治療方針

杏林大学 脳神経外科

○塩川芳昭、斎藤 勇

B-10) 無症候性未破裂脳動脈瘤の治療

—治療選択と治療成績—

広南病院 脳神経外科、東北大学 脳神経外科*

○長嶺義秀、藤原 悟、吉本高志*

B-11) 無症候性脳動脈瘤に対する治療方針

久留米大学 脳神経外科、放射線科*

○広畑 優、盛満人之、安陪等思*、高橋禎彦、島本宝哲、徳富孝志、
重森 稔

B-12) 無症候性未破裂脳動脈瘤の治療成績と予後不良因子の多変量解析による検討

大阪大学 脳神経外科、大阪大学 脳神経外科関連施設

○藤中俊之、中島義和、湯口貴導、甲村英二、吉峰俊樹

10:48~11:33

未破裂脳動脈瘤 4

座長：河瀬 斌

B-13) 松本市医療圏におけるくも膜下出血の発症と未破裂脳動脈瘤手術例の検討

—一之瀬脳神経外科病院、信州大学 脳神経外科*

○一之瀬良樹、本郷一博*、渡辺宣明、松島直子、小林茂昭*

B-14) 無症候性脳梗塞を有する多発性未破裂脳動脈瘤手術の1例

—術前・術後の大脳高次機能の変化—

大分市医師会立アルメイダ病院 脳神経外科

○田島 篤、佐藤智彦、中野俊久、郭 忠久

B-15) 未破裂脳動脈瘤術後に同側慢性硬膜下血腫を生じた1例

日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科、日本医科大学 脳神経外科*

○村井保夫、小林士郎、水成隆之、寺本 明*

B-16) 経過観察中破裂した最大径3mm以下の未破裂脳動脈瘤の2例

秋葉病院 脳神経外科、放射線科*、東大宮総合病院 脳神経外科**

○田澤俊明、高橋浩一、秋葉弥一、小林敬典*、岡田和紀**

B-17) 脳ドックで発見された椎骨動脈の解離性および紡錘状動脈瘤症例の検討

宇部興産中央病院 脳神経外科

○黒川 泰、阿美古征生、池田典生、岡村知實、出口 誠

11:33~12:09

無症候性脳血管病変

座長：児玉南海雄

- B-18) 頸動脈狭窄病変における Multidetector CT の有用性について
財) 脳神経疾患研究所附属南東北病院 脳神経外科
○小泉仁一、渡辺一夫
- B-19) MRA で疑われた内頸動脈サイフォン部狭窄の診断上の問題点
金沢医科大学 脳神経外科
○高田 久、赤井卓也、飯塚秀明
- B-20) 無症候性脳梗塞と無症候性頸動脈病変の関連についての検討
東北厚生年金病院 リハビリテーション科
○佐藤 景、遠藤 実
- B-21) 脳ドックで指摘され重篤な脳室内出血をきたした片側性“モヤモヤ”病の1例
日本医科大学 神経内科、脳神経外科*
○田中伸幸、白田和弘、坂本静樹、神谷達司、永積 惇、片山泰朗、
寺本 明*

12:20~13:20

ランチョンセミナー 2

座長：端 和夫

未破裂脳動脈瘤の血管内手術の進歩
東北大学医学部大学院研究科 神経病態制御学

高橋 明

17:00~17:36

無症候性脳・脊髄腫瘍

座長：田中隆一

- B-22) 脳ドックにおける無症候性占拠性病変の頻度と治療
社会保険広島市民病院 脳神経外科
○西野繁樹、上利 崇、坪井俊之、今岡 充、塩田知己、浅野 拓、
真鍋武聰
- B-23) 無症候性髄膜腫の自然経過
市立四日市病院 脳神経外科
○市原 薫、伊藤八峯、中林規容、柴山美紀根、河合達巳
- B-24) 無症候性脳腫瘍の治療方針
三佼会宮崎病院 脳神経外科
○鬼塚正成、柴山 了、宮崎隆義、宮崎久弥
- B-25) 脳ドックにて診断された脳・脊髄腫瘍13例の検討
西宮市立中央病院 脳神経外科、神戸市立中央病院 脳神経外科*、
市立堺病院 脳神経外科**
○本崎孝彦、正名好之、松本茂男*、小山 隆**

第2日：6月30日(金)

●A会場 (国際会議場)

9:00～10:30

シンポジウム2 未破裂脳動脈瘤手術の高次脳機能への影響

司会 岩手医科大学 脳神経外科 小川 彰
山梨医科大学 脳神経外科 貫井英明

S2-1) 未破裂脳動脈瘤手術の知的機能への影響

筑波メディカルセンター病院 脳神経外科 小松洋治

S2-2) 未破裂脳動脈瘤手術前後の大脳半球の脳代謝および高次脳機能の変化

—1H-MR spectroscopyとWAIS-Rを用いた検討—

美原記念病院 脳神経外科 小林正人

S2-3) 未破裂脳動脈瘤手術の高次脳機能への影響

岩手県立花巻厚生病院 脳神経外科 真瀬智彦

S2-4) 未破裂脳動脈瘤手術前後の高次脳機能の検討

岩手医科大学 脳神経外科 太田原康成

S2-5) N式精神機能検査とglycerol 負荷脳血流量による評価

東松山市立市民病院 脳神経外科 竹内東太郎

S2-6) 未破裂脳動脈瘤の術前・術後の神経心理検査の比較

秋田県立リハビリテーション・精神医療
センター リハビリテーション科 下村辰雄

(各9分、討論36分、計90分)

10:40～12:10

シンポジウム3 脳ドックにおける高次脳機能検査の標準化の問題点

—特に前頭葉機能検査について—

司会 岩手医科大学 神経内科 東儀英夫
島根医科大学 第3内科 小林祥泰

S3-1) 脳ドックにおける高次脳機能検査の意義

岩手医科大学 神経内科 高橋 智

S3-2) 脳ドックにおける高次脳機能検査とPETによる脳代謝

東海大学 神経内科 高木繁治

S3-3) パソコンを用いた Wisconsin Card sorting Test

(Keio-Fukuoka-Shimane Version)の検討

福岡徳洲会病院 リハビリテーション科 安部博史

S3-4) 無症候性虚血性脳病変と高次脳機能

島根医科大学 第3内科 山口修平

S3-5) パソコンを用いた客観的な高次脳機能評価法の開発と応用

中国労災病院 脳神経外科 山中千恵

S3-6) 脳ドックにおける知的機能検査について (第2報)

虎ノ門病院 脳神経外科 武田祐子

追加：パソコン版Wisconsin card sorting test(KFS version)の紹介

島根医科大学 第3内科 小林祥泰 (5分)

(各9分、討論31分、計90分)

12:20~13:20

ランチョンセミナー3

座長 中川俊男・藤原 悟

MRI機器の最近の進歩

1) リアルタイムファンクショナルMRIのクリニカルユーティリティー

シーメンス旭メディテック株式会社 岡本 淳

2) MRIの最新技術について

東芝メディカル株式会社 岡本和也

3) 最先端MRの脳神経領域への応用

GE横河メディカルシステム株式会社 梶沢宏之

13:20~13:25

閉会の辞

会長 小林祥泰

15:00~17:00

市民公開講座

司会 島根医科大学第3内科 小林祥泰

テーマ：「脳卒中にならないために」

1. 『脳卒中なんか怖くない』

—その予知・予防／治療法の進歩—

講師：松本昌泰先生

2. 『クモ膜下出血の予防は可能か』

講師：中川俊男先生